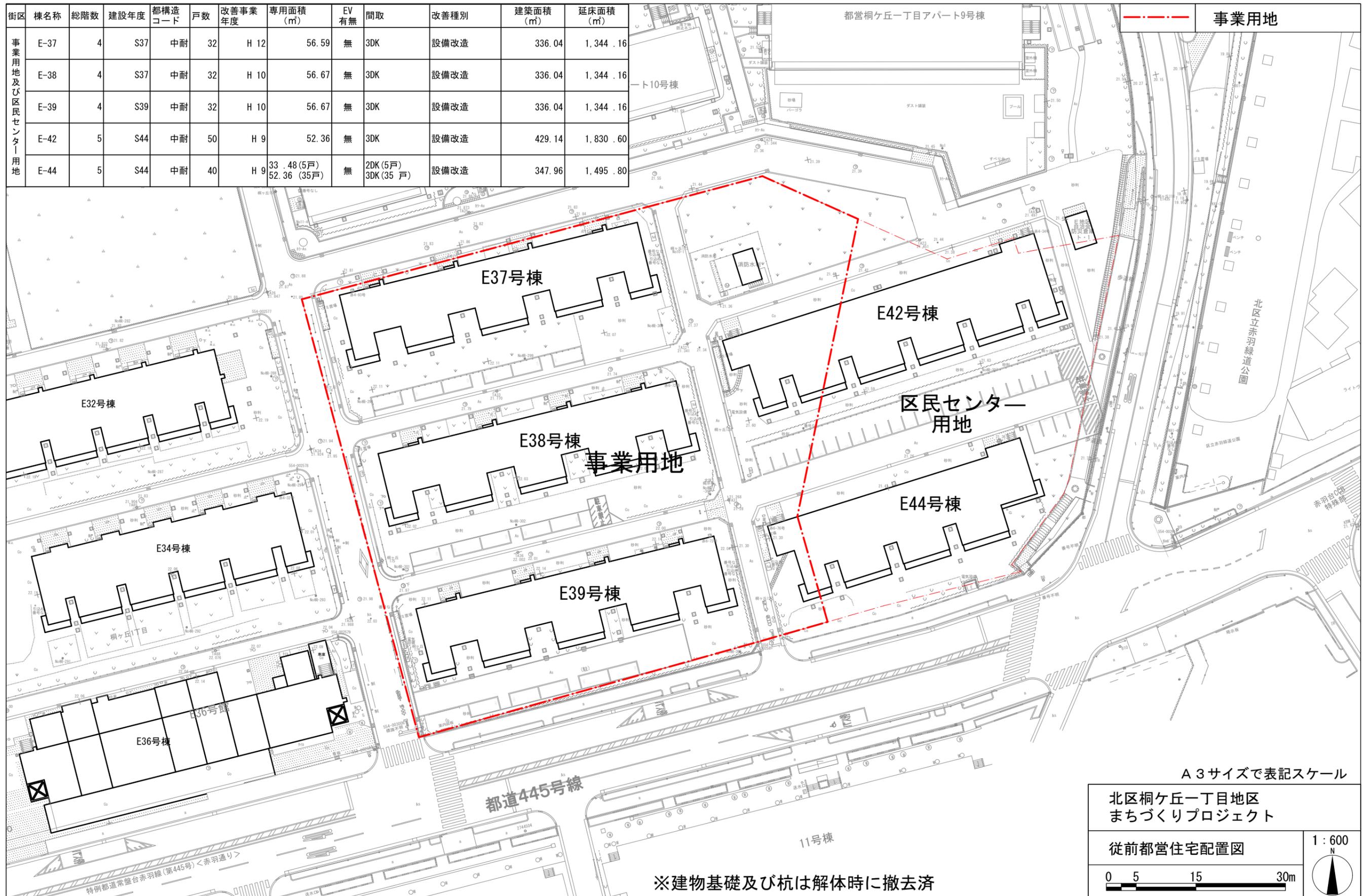


従前都営住宅解体図（基礎、杭）

街区	棟名称	総階数	建設年度	都構造コード	戸数	改善事業年度	専用面積 (㎡)	EV有無	間取	改善種別	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
事業用地及び区民センター用地	E-37	4	S37	中耐	32	H 12	56.59	無	3DK	設備改造	336.04	1,344.16
	E-38	4	S37	中耐	32	H 10	56.67	無	3DK	設備改造	336.04	1,344.16
	E-39	4	S39	中耐	32	H 10	56.67	無	3DK	設備改造	336.04	1,344.16
	E-42	5	S44	中耐	50	H 9	52.36	無	3DK	設備改造	429.14	1,830.60
	E-44	5	S44	中耐	40	H 9	33.48 (5戸) 52.36 (35戸)	無	2DK (5戸) 3DK (35戸)	設備改造	347.96	1,495.80



A 3サイズで表記スケール

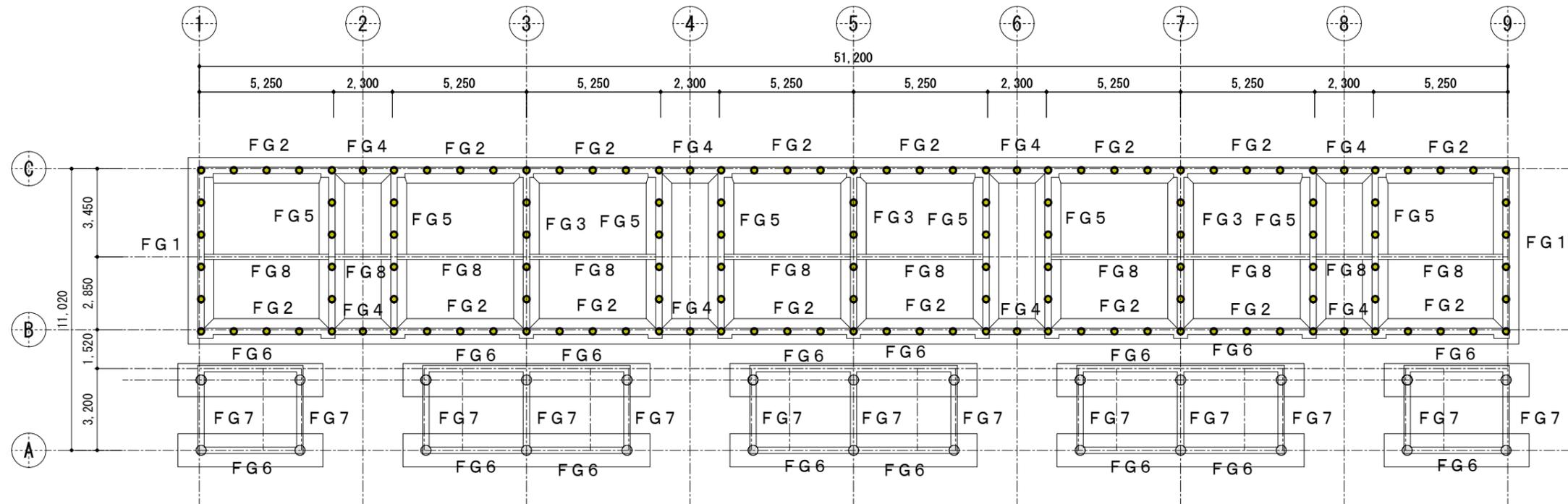
北区桐ヶ丘一丁目地区  
まちづくりプロジェクト

従前都営住宅配置図

0 5 15 30m

1 : 600

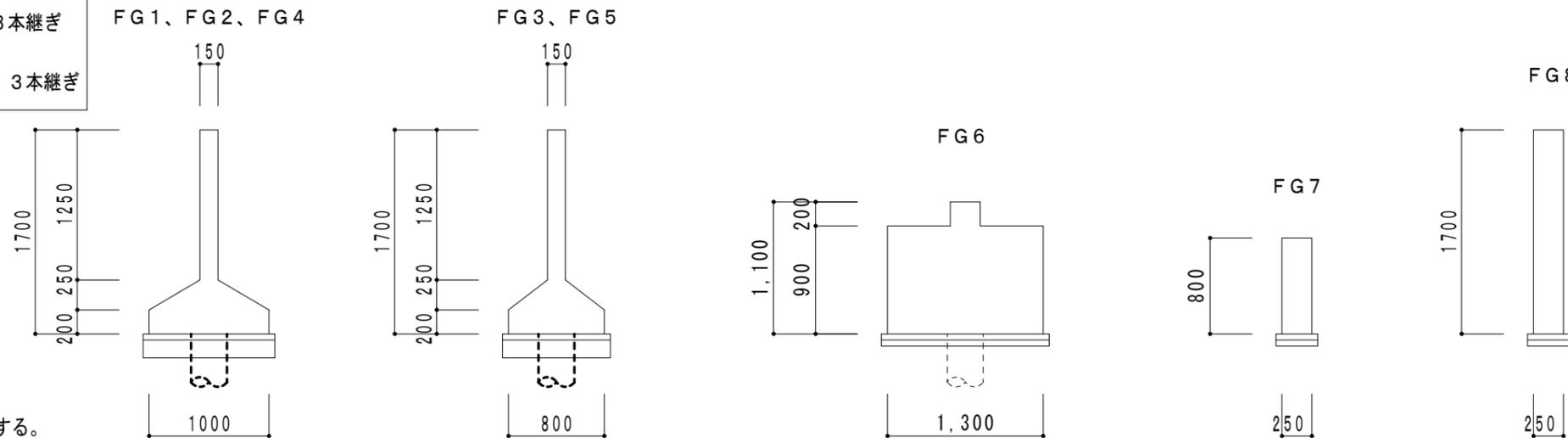
※建物基礎及び杭は解体時に撤去済



基礎伏図 S=1/200

杭仕様

- - RC杭 径 250、長さ20m、3本継ぎ
- - PHC杭 径 400、長さ28m、3本継ぎ



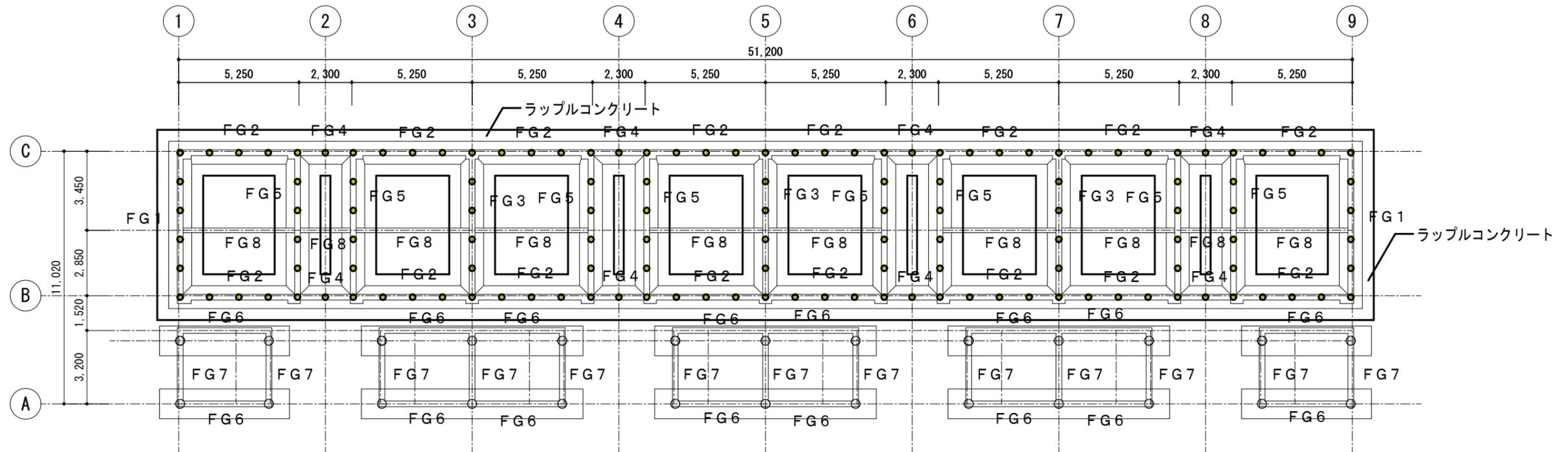
基礎断面図 S=1/50

<特記>

- 1、基礎伏図・杭位置については、参考とする。
- 2、基礎下の砕石等は、全て撤去・処分とする。
- 3、杭の引き抜きは、アースオーガー等を装着した杭引き抜き機により、杭外周掘削縁切りを行いながら杭を引き抜く工法を想定している。
- 4、杭孔の埋め戻しは、流動化処理土にて行うこと。流動化処理土は、以下の通りとする。
  - ・密度：1.35t/m<sup>3</sup>以上
  - ・最大粗径：13mm以下
  - ・ $\sigma_{28}$ （28日一軸圧縮強度）：13~55N/cm<sup>2</sup>
  - ・フロー値：180~300mm
  - ・フリージング率：1%未満
  - ・再生砂を利用する場合は、六角クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認する。試験は各工事で1購入先当たり1検体とする。
  - ・水質区分については、工業用水道の水質基準を満たすこと。（塩素イオン含有率については200mg/l以下とする。）
- 5、隣接構造物等に影響を与えないように施工すること。
- 6、杭引き抜き工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 7、杭引き抜き機の選定は、土質状態・作業条件を考慮し選定する。状況に応じて、地盤改良材等を適切に用い、作業中の安全には十分に配慮すること。
- 8、現場内土砂にて埋め戻す場合には、30cm毎に転圧を行うこと。

北区桐ヶ丘一丁目地区まちづくりプロジェクト

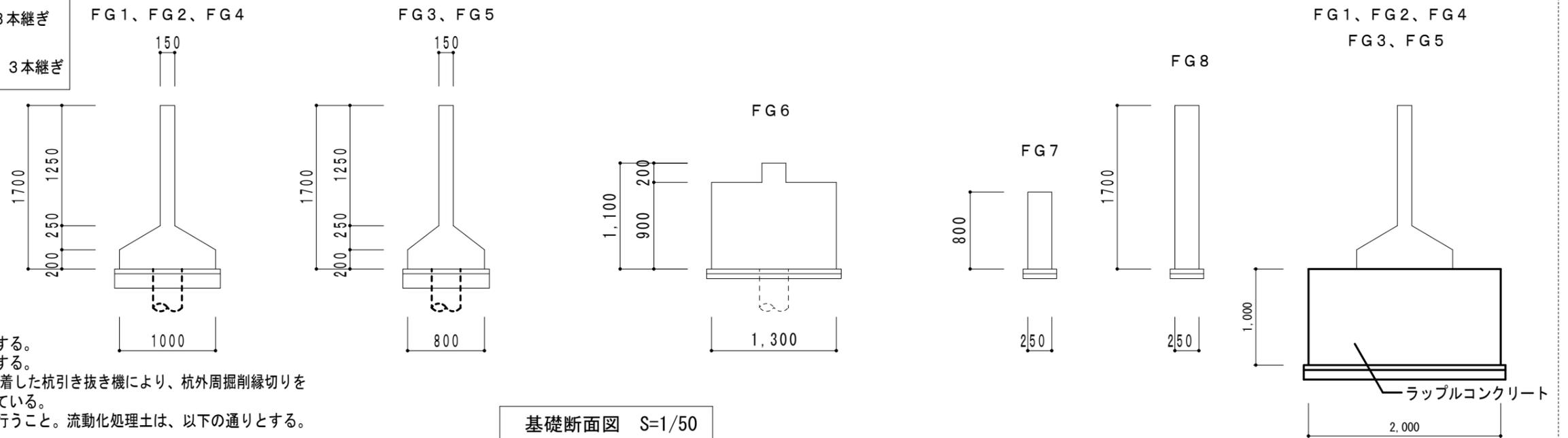
都営桐ヶ丘アパート(E-37~E-39、E-42、E-44号棟)除却工事発注図  
E-37号棟 杭・基礎伏図(参考図)



基礎伏図 S=1/200

杭仕様

- - RC杭 径 250、長さ20m、3本継ぎ
- - PHC杭 径 400、長さ28m、3本継ぎ



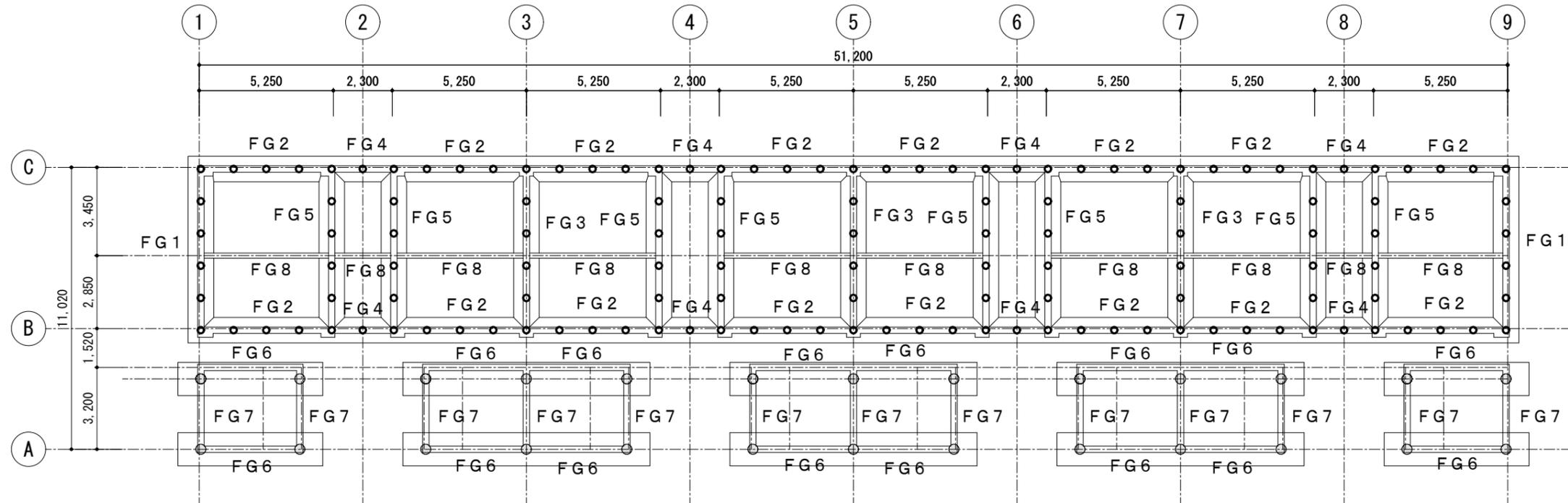
基礎断面図 S=1/50

<特記>

- 1、基礎伏図・杭位置については、参考とする。
- 2、基礎下の砕石等は、全て撤去・処分とする。
- 3、杭の引き抜きは、アースオーガー等を装着した杭引き抜き機により、杭外周掘削縁切りを行いながら杭を引き抜く工法を想定している。
- 4、杭孔の埋め戻しは、流動化処理土にて行うこと。流動化処理土は、以下の通りとする。
  - ・密度：1.35t/m<sup>3</sup>以上
  - ・最大粗径：13mm以下
  - ・ $\sigma_{28}$ （28日一軸圧縮強度）：13~55N/cm<sup>2</sup>
  - ・フロー値：180~300mm
  - ・フリージング率：1%未満
  - ・再生砂を利用する場合は、六角クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認する。試験は各工事で1購入先当たり1検体とする。
  - ・水質区分については、工業用水道の水質基準を満たすこと。（塩素イオン含有率については200mg/l以下とする。）
- 5、隣接構造物等に影響を与えないように施工すること。
- 6、杭引き抜き工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 7、杭引き抜き機の選定は、土質状態・作業条件を考慮し選定する。状況に応じて、地盤改良材等を適切に用い、作業中の安全には十分に配慮すること。
- 8、現場内土砂にて埋め戻す場合には、30cm毎に転圧を行うこと。

北区桐ヶ丘一丁目地区まちづくりプロジェクト

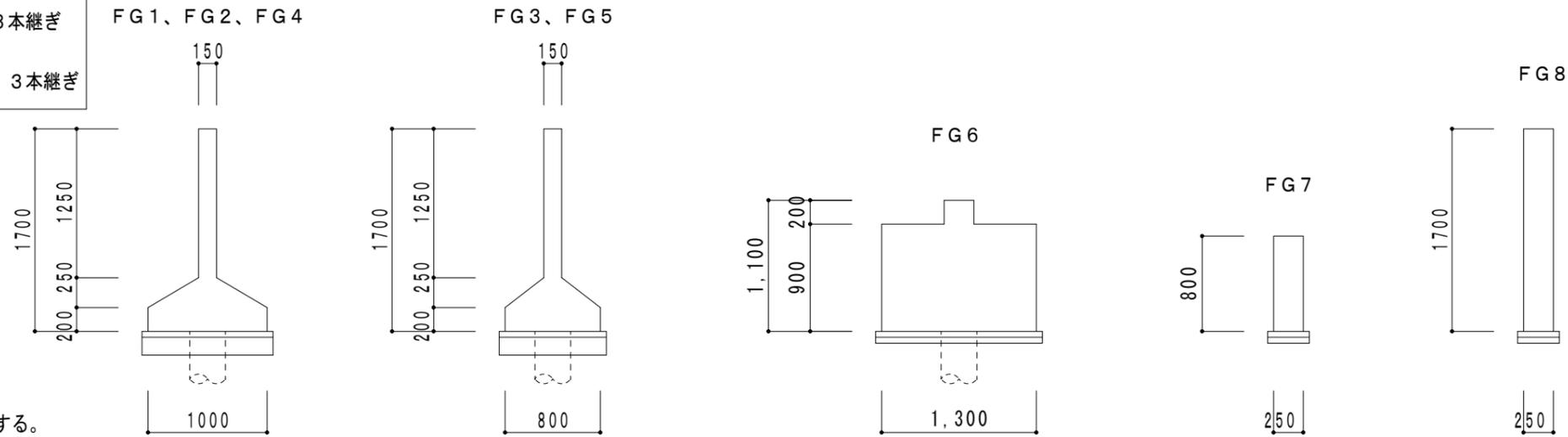
都営桐ヶ丘アパート(E-37~E-39、E-42、E-44号棟)除却工事発注図  
E-38号棟 杭・基礎伏図(参考図)



基礎伏図 S=1/200

杭仕様

- - RC杭 径 300、長さ12m、3本継ぎ
- - PHC杭 径 400、長さ28m、3本継ぎ



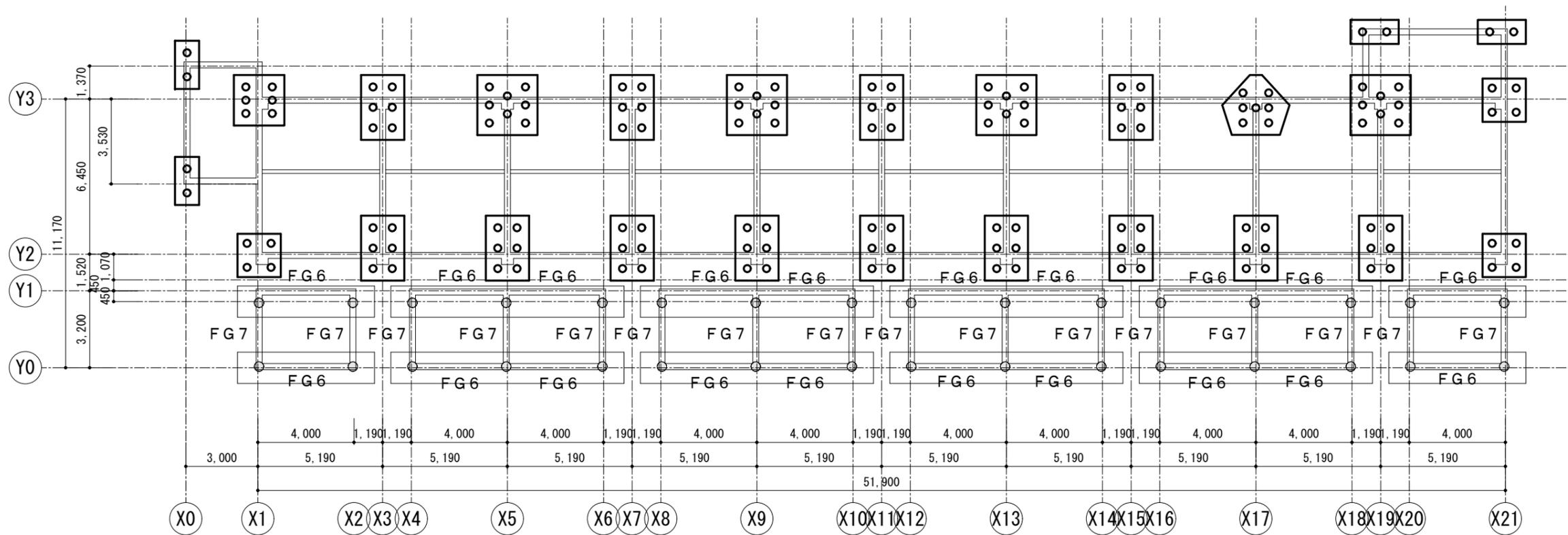
基礎断面図 S=1/50

<特記>

- 1、基礎伏図・杭位置については、参考とする。
- 2、基礎下の砕石等は、全て撤去・処分とする。
- 3、杭の引き抜きは、アースオーガー等を装着した杭引き抜き機により、杭外周掘削縁切りを行いながら杭を引き抜く工法を想定している。
- 4、杭孔の埋め戻しは、流動化処理土にて行うこと。流動化処理土は、以下の通りとする。
  - ・密度：1.35t/m<sup>3</sup>以上
  - ・最大粗径：13mm以下
  - ・ $\sigma_{28}$ （28日一軸圧縮強度）：13~55N/cm<sup>2</sup>
  - ・フロー値：180~300mm
  - ・フリージング率：1%未満
  - ・再生砂を利用する場合は、六角クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認する。試験は各工事で1購入先当たり1検体とする。
  - ・水質区分については、工業用水道の水質基準を満たすこと。（塩素イオン含有率については200mg/l以下とする。）
- 5、隣接構造物等に影響を与えないように施工すること。
- 6、杭引き抜き工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 7、杭引き抜き機の選定は、土質状態・作業条件を考慮し選定する。状況に応じて、地盤改良材等を適切に用い、作業中の安全には十分に配慮すること。
- 8、現場内土砂にて埋め戻す場合には、30cm毎に転圧を行うこと。

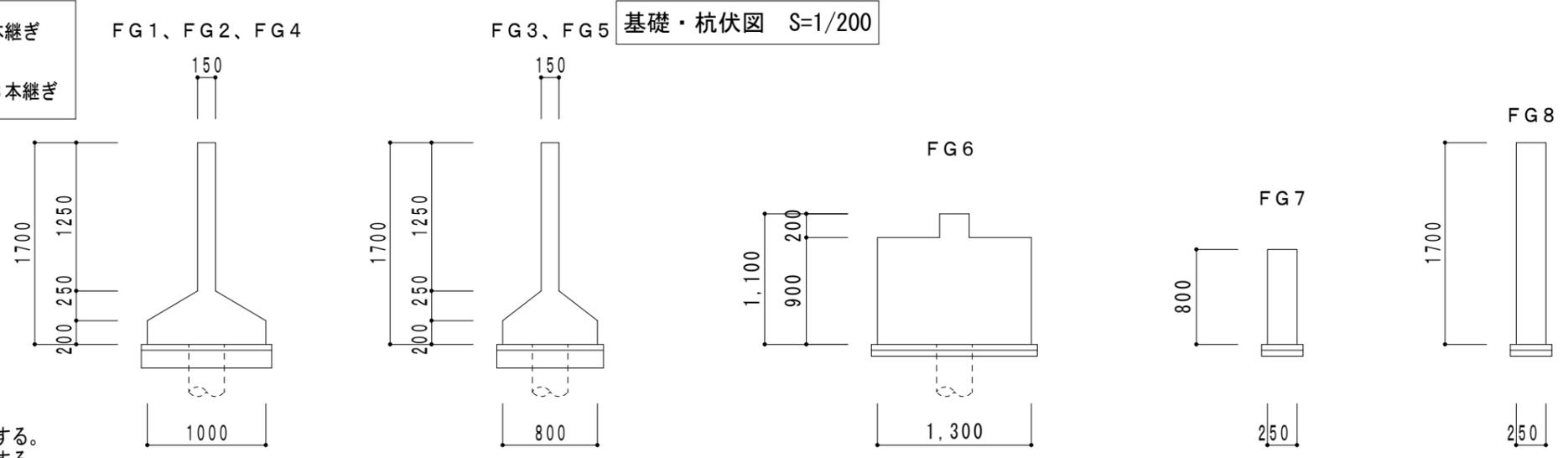
北区桐ヶ丘一丁目地区まちづくりプロジェクト

都営桐ヶ丘アパート(E-37~E-39、E-42、E-44号棟)除却工事発注図  
E-39号棟 杭・基礎伏図(参考図)



杭仕様

- - RC杭 径300、長さ13m、3本継ぎ
- - PHC杭 径500、長さ30m、3本継ぎ



<特記>

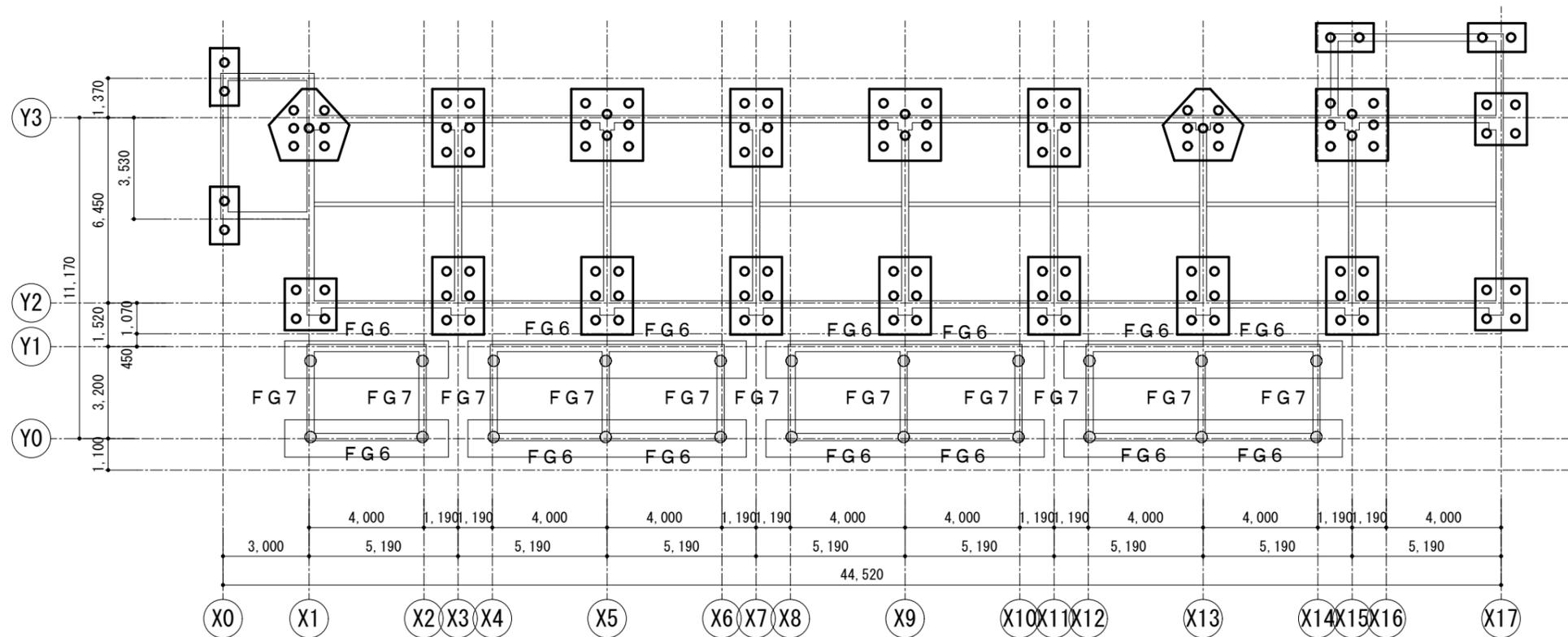
- 1、基礎伏図・杭位置については、参考とする。
- 2、基礎下の砕石等は、全て撤去・処分とする。
- 3、杭の引き抜きは、アースオーガー等を装着した杭引き抜き機により、杭外周掘削縁切りを行いながら杭を引き抜く工法を想定している。
- 4、杭孔の埋め戻しは、流動化処理土にて行うこと。流動化処理土は、以下の通りとする。
  - ・密度：1.35t/m<sup>3</sup>以上
  - ・最大粗径：13mm以下
  - ・ $\sigma_{28}$ （28日一軸圧縮強度）：13~55N/cm<sup>2</sup>
  - ・フロー値：180~300mm
  - ・フリージング率：1%未満
  - ・再生砂を利用する場合は、六角クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認する。試験は各工事で1購入先当たり1検体とする。
  - ・水質区分については、工業用水道の水質基準を満たすこと。（塩素イオン含有率については200mg/l以下とする。）
- 5、隣接構造物等に影響を与えないように施工すること。
- 6、杭引き抜き工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 7、杭引き抜き機の選定は、土質状態・作業条件を考慮し選定する。状況に応じて、地盤改良材等を適切に用い、作業中の安全には十分に配慮すること。

基礎断面図 S=1/50

8、現場内土砂にて埋め戻す場合には、30cm毎に転圧を行うこと。

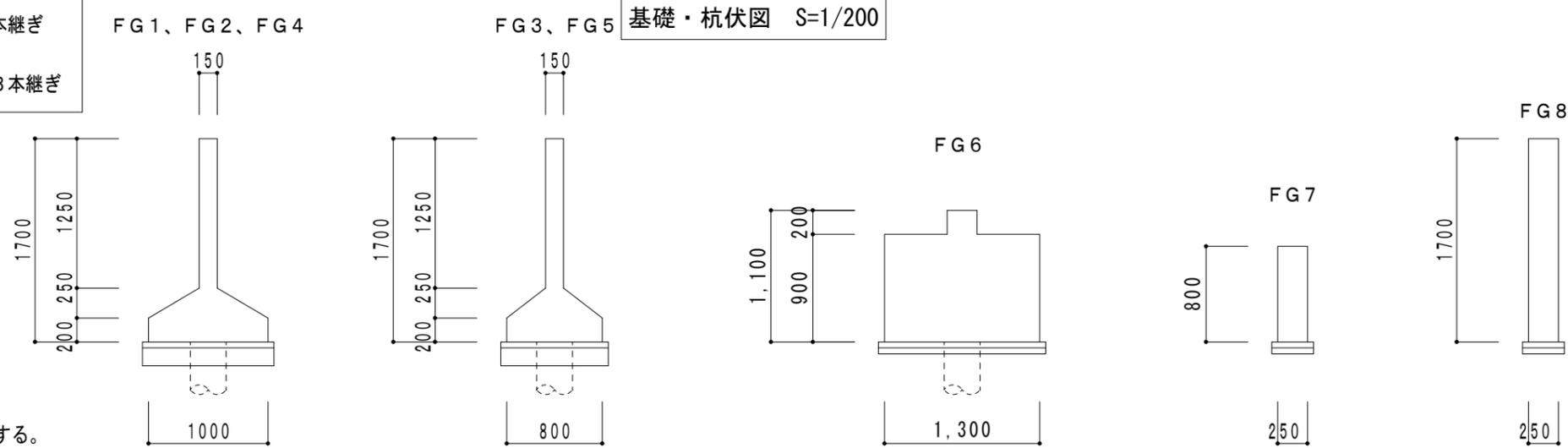
北区桐ヶ丘一丁目地区まちづくりプロジェクト

都営桐ヶ丘アパート(E-37~E-39、E-42、E-44号棟)除却工事発注図  
E-42号棟 杭・基礎伏図(参考図)



杭仕様

- - RC杭 径300、長さ13m、2本継ぎ
- - PHC杭 径500、長さ30m、3本継ぎ



基礎断面図 S=1/50

<特記>

- 1、基礎伏図・杭位置については、参考とする。
- 2、基礎下の砕石等は、全て撤去・処分とする。
- 3、杭の引き抜きは、アースオーガー等を装着した杭引き抜き機により、杭外周掘削縁切りを行いながら杭を引き抜く工法を想定している。
- 4、杭孔の埋め戻しは、流動化処理土にて行うこと。流動化処理土は、以下の通りとする。
  - ・密度：1.35t/m<sup>3</sup>以上
  - ・最大粗径：13mm以下
  - ・ $\sigma_{28}$ （28日一軸圧縮強度）：13~55N/cm<sup>2</sup>
  - ・フロー値：180~300mm
  - ・フリージング率：1%未満
  - ・再生砂を利用する場合は、六角クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認する。試験は各工事で1購入先当たり1検体とする。
  - ・水質区分については、工業用水道の水質基準を満たすこと。（塩素イオン含有率については200mg/l以下とする。）
- 5、隣接構造物等に影響を与えないように施工すること。
- 6、杭引き抜き工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 7、杭引き抜き機の選定は、土質状態・作業条件を考慮し選定する。状況に応じて、地盤改良材等を適切に用い、作業中の安全には十分に配慮すること。
- 8、現場内土砂にて埋め戻す場合には、30cm毎に転圧を行うこと。

北区桐ヶ丘一丁目地区まちづくりプロジェクト

都営桐ヶ丘アパート(E-37~E-39、E-42、E-44号棟)除却工事発注図  
E-44号棟 杭・基礎伏図(参考図)